(一)　昭和33年1月9日　(木曜日)　第2311号　常磐毎日新聞　(昭和30年1月22日 第三種郵便物可認)　夕刊　(日曜、祭日休刊)

常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
営業部専用 1,210
編集部専用 1,269

"玉代騒動"四倉に飛ぶ

芸妓組 八日に再び値上げ申入れる

平市の玉代値上げ騒動は旧ろう時の氏神の仲介で円満に解決したが、そのあおりが四倉町に波及その成行きに関心を集めている。四倉町芸妓屋組合（組合長鈴木一郎氏ら六軒十三名）では本年四月から実施される売春禁止法に対し芸妓のあり方、さらに社会の批判にどう応えるかなどの対策を練っていたが正常営業をはかるためには現行の玉代（一時間三百円）ではどうにもならないから正月七草より手取二百六十円に値上げしてほしいと旧ろう四倉四業組合に申入れていたが、四業組合では「営業の正常化後考慮する」と回答したため芸妓屋組合では八日再び要求、今後の成行が注目されている。なお芸妓組の世話役に当っている姐さん連はストライキなどの手段は考えず紳士的に話合いを進めてゆきたいと語っている。

平にも處理場を

議員ら常磐の施設視察

県内初の施設として注目を集めている常磐市の糞尿消化槽の完成にともない平市でもその建設方を計画している。このため平市議会議員一行三十六名が十一日午前九時半から常磐市の処理場、状況などを視察して計画の一助にすることになつた。この糞尿消化槽建設計画は平市の関係者間で二年前から進められているもので、平、内郷好間の二市一村共同の処理場建設ということが強くさけばれている現在平市に六衛生事業所、内郷市には市営汲取車が毎日各家庭のふん尿を処理、市当局で建設した処理場に捨てているが、化学肥料生産にともなう畜家の使用減と人口の増加などによつて処理出来ない状態となつているこのまま処理する場合には河川などの禁止区域を利用するという衛生上かんばしくない事態にまでなることから薬害や市などがその解決策として消化槽を建設しようというものである。

教員研究物展示会

平市教育委員会主催の「平市立中学校教員研究物展覧会」は二十二日から二十四日までの三日間市公会堂日本間で開催される。出品目録は「学校経営に関するもの」「学級経営に関するもの」「教科研究に関するもの」「教材教具の研究に関するもの」などで出品者は二十一日午前中まで申込むこと

28隻と決る

東支那海出漁

六日磐城市県水産試験場で東支那海のさば一本釣漁業についての組合員と出漁船主の役員三十名が出席して出漁の具体策を打合せた。本年漁業に出漁するのは四倉港八島、表崎両港にそれぞれ集結、現地で船団を組織し本格的な漁業をはじめることにした。両港を根拠に沖縄近海の東支那海で操業漁獲物は日冷鹿児島出張所に渡すことになつている。県水試では十日浅利技師を現地に派遣、白鳳丸に乗り込ませ漁場を調べさせることにした。

結婚の日を前に

富岡の娘さん 列車に飛込み自殺

八日午後零時五十分ごろ常磐線上り貨物三六四列車が双葉郡浪江町字竹ノ花地内にさしかかつたさい、年令二十四、五才の女が突然飛込み、手足をひかれて即死した。平鉄道公安室で身元を調べていたが富岡町本岡字新田畳職杉本ケイ子さん(三五)とわかつた。「杉本」の印鑑と杉本正男名義の銀行の通帳は十三日午前九時から「新しい村造り」県新農建設顧問小森健治氏、▽二十四日午後一時「新しい農村社会生活」東大教授神谷慶治氏▽二十五日「酪農営利栽培の新技術」農林省農業技術園芸部長江口庸雄氏▽二十六日「世界の情勢と今後の我が国の農業動向」読売新聞論説委員未定▽二十六日午後一時「有畜営農改善」未定▽二十七日「稲作の新技術について」東大教授川田信一郎氏▽二十八日午前九時「畑作経営改善」東京教育大学教授横木清太郎氏▽二十八日午後一時「これからの農業経営の指針について」東京農工大学教授大谷省三氏

開発は人の和で

石炭 年産三百万トンへ

常磐炭砿恒例の新年祝賀式は七日午後二時から常磐市湯本自治会館でそれぞれ盛大に催されたが、席上大越社長は「開発の基本は人の和にある」と大要次のようなあいさつをのべた。

『今年は戌年、わたくしは戌年生れだ。わたくしは名犬ではなく単なる野犬で、しかもかみつく犬である。しかしただかみつくのではなくそのかみつきは憎愛憎の発露にほかならない。常磐炭砿は前身の磐城、入山時代には地元とのつながりも緊かつたが、こん日は資本、系統においても人的つながりにおいても地元とのつながりは深い。日本の石炭消費量は昭和五十年には現在の二、四倍になることがハッキリした。この線に沿つて常磐炭砿でも現在の年産二百万トンを三百万トンに引上げて国民の要望にそわなければならない資本も百億円に増資する必要がある。石炭を掘ると共に地元消費をはかることも大切だが幸い勿来に火力発電所ができて年間三十一万トンの低品位炭が消費されることになつた。こん後地元工業の振興につれて更に地元消費の増大が期待されている。常磐地区の総合開発は新しい工場を誘致することも必要だが、まず既設の工場を盛んにすることが大切であり、既設工場はお互に助け合つてゆかなければならない。

本社がガス課を設けて坑内の天然ガス利用を計画しているのもその一つである。常磐地区の開発には互に手を取り合つて人の和をはかつてゆくことがもつとも大切だと思う』

長つ社さ越い大あ

常磐炭砿恒例の新年祝賀式は七日午後二時から常磐市湯本自治会館でそれぞれ盛大に催されたが、席上大越社長は「開発の基本は人の和にある」と大要次のようなあいさつをのべた。

『今年は戌年、わたくしは戌年生れだ。わたくしは名犬ではなく単なる野犬で、しかもかみつく犬である。しかしただかみつくのではなくそのかみつきは憎愛憎の発露にほかならない。常磐炭砿は前身の磐城、入山時代には地元とのつながりも緊かつたが、こん日は資本、系統においても人的つながりにおいても地元とのつながりは深い。日本の石炭消費量は昭和五十年には現在の二、四倍になることがハッキリした。この線に沿つて常磐炭砿でも現在の年産二百万トンを三百万トンに引上げて国民の要望にそわなければならない資本も百億円に増資する必要がある。石炭を掘ると共に地元消費をはかることも大切だが幸い勿来に火力発電所ができて年間三十一万トンの低品位炭が消費されることになつた。こん後地元工業の振興につれて更に地元消費の増大が期待されている。常磐地区の総合開発は新しい工場を誘致することも必要だが、まず既設の工場を盛んにすることが大切であり、既設工場はお互に助け合つてゆかなければならない。

本社がガス課を設けて坑内の天然ガス利用を計画しているのもその一つである。常磐地区の開発には互に手を取り合つて人の和をはかつてゆくことがもつとも大切だと思う』

チ主席一行四名

中共代表十四日に來平

日、中炭鉱労働者の親睦をはかろうと中国ぼう工鉱会一行四人が十四日来平する。来平する代表団はチンジーフ（ぼう工鉱会主席）ジヤンウエーシ（河北省鉱会主席）ジタンシン（石炭課研究技術員）リージョンラオ（通役）の四人。日程は十三日午後六時から磯原町三浦館で磐炭労各支部代表、国鉄労組、主婦の会の関係者と歓迎レセプションを行い、十四日午前十時三十四分平着、常磐炭砿、古河炭鉱を視察午後一時十六分で北海道に向う予定。

農業実践大學

2月24日から平市で

三十三年度第六回農業実践大学講座は来たる二月二十四日から五日間平市で開かれるが、予定の講師日程が次の様に決つた。なお講師講師などの最終決定は十三日の役員会で決る

▽二十四日午前九時から「新しい村造り」県新農建設顧問小森健治氏、▽二十四日午後一時「新しい農村社会生活」東大教授

記念マラソン大会も

四倉の成人式

四倉町主催の第三回成人式は十五日午前十時から四倉小学校で挙行する。成人総数は三百五十九人（男百五十四、女二百五）で地区別には四倉百七十八人（男七十三、女百五）大浦八十六人（男三十三女五十三）大野九十五人（男四十八、女四十七）となつている

同式を記念して四倉連合青年団同教育委員会では町内一巡りマラソン大会を行うが、参加は十五チーム、十時同校々庭をスタートする。なお終つて映画の会を催すほか、成人者に鏡とクシを贈る。

国鉄寮に賊

平市旧城跡十六高萩国鉄員合津公好さん(三〇)は六日午後三時から九時までの間に平国鉄寄年寮内でジヤンバー、紺ズボンなど（七千五昱円相当）を盗まれたと平鉄道公安室に届けた。

急停車で事故まぬがる

八日十二時十分ごろ常磐線長塚ー浪江間二六九キロ地点浪江大堀街道踏切で下り二二五列車（平発十時四十三分発）が進行中前方五十メートル地点に浪江町川添上野原製材工大野久さんの運転するオート三輪車の前車輪が線路にはさまつてえん故しているのを発見急停車して危く事故をまぬがれた。

急募
男女工員
若干名
委細面談
平市古鍛治町 電三七四

男子三日逢わざれば刮目して待つべしと申すそうですが、新食堂におでで下さつて、もしお気に召さぬことがございましてもお見限り下さいますことがございますので
越藤
平市 小名浜
○ブレンオムレツ 六〇円
○ポークチャップ 一〇〇円
○チキンマカロニグラタン〃 一〇〇円
金曜特売 海苔二帖 一〇〇円

公告第一号

平市都市計画新川北第二（第一地区）土地区画整理審議会委員の選挙人名簿、選挙すべき委員数、選挙場、投票時間及開票の日時に関し次の通り公告する。

昭和三十三年一月九日

平市長 諸橋久太郎

一、平市都市計画新川北第二（第一地区）土地区画整理審議会選挙人名簿は昭和三十二年八月から十二月二十一日までの間従覧に供したが、異議申立一件あり、昭和三十二年十二月二十四日公告61号を以て掲示した通り名簿修正をした。其の他に異議の申立がなかつた。

なお名簿に記載された者の数は次の通りである。

宅地の所有権を有する者　一一二名
宅地の借地権を有する者　二四名
計　一三六名

二、選挙すべき委員数及予備委員の数は次の通りとする。

宅地の所有権を有する者が選挙すべき委員　七名
同　予備委員　三名
宅地の借地権を有する者が選挙すべき委員　一名
同　予備委員　一名

三、選挙場は平市字正月町五五番地平土木事務所分室（元復興事務所）とする

四、投票時間は選挙期日（二月五日）午前八時から午後四時三十一分までとし、開票は選挙場に於て当日午後六時からとする。

なお立候補届又は立候補推薦届は一月九日から一月十八日の十日間、平市役所土木課都市計画分室で受付ける。

謹賀新年
福島縣建設業協会石城支部
支部長 太田武彦
副支部長 荻野右吉
理事 強口唯七郎
〃 長谷川常吉
〃 渡辺長作
監事 川和徳一

謹賀新年
江口工業合資会社
代表者 江口勇
四倉町字町頭

謹賀新年
好間村役場
村長 鈴木栄一
外職員一同

謹賀新年
好間村議会
議長 塩沢軍太郎
外議員一同

成人の日の感想文

成人の日を迎えて

木田益夫

いつの間にか、私たちも大人の仲間入りをしてしまいました。「世の中は難しいことばかりでうずまっている。」というおとなたちの話をきくたびに、自分が立派な教養を身につけた人間でなくては、幸せな人生のスタートをふみだすことができないと考えさせられます。

「働く生活の中からは、なかなか勉強もできるものではないのだ」とそういう一人ぎめして考えると、教養らしいものを何一つ身につけていない自分には、何となく恐怖にも似た不安な気持で前途が思いやられるのであります。しかし、例えいかに高い教養を積んだ人間であっても他人を見下げたり、常に自分だけは正しいのだという思い上った考えで、ひとのことばかりを責めるようでは、その人の教養も何らの価値もなくなってしまうものであります。

それはかりでなくひとの幸福を妬んだり、ひとの不幸や災難をコオドリして喜ぶようでは、浅間しい人間と同じだといわれてしまいます。

人間の知性の最後のものは、あらゆるものに対する愛でなくてはならないと思います。凡そ世の中で人間が生活して行くのに自分一人だけで生きて行くことはできるものではありません。ひとの喜びを自分のことのように喜び、ひとが不幸のどん底にあるのを見た時、その人を悲しみから救い出すことができるような人間になりたいと考えるものであります。人間として一番大事なものは隣人に対する愛でありましょう。私たちが世の中のことや人生のことを知りたいという切実な願いから、どんな努力や学問をしようとも、愛がなければ人間についての正しい認識はできるものではないと思います。人間の持つ愛というのはさつばりとした愛のないそして大らかな清い心でなければならないものであります。私たちは互に慰め、励まし合って生きて行かねばならない友として、明るい理解の上にすべてを築いて行きたいものだと思います。私たちはこれ見よがしのぶつたりや、見かけを飾つたりしないで、常に正しく謙虚な美しい心の持主になれるよう心がけたいものであります。これらの自分たちの生活の中には、喜びや悲しみが入り交じつてくるもので、時に苦しいことや不合理のあることを考えられます。そうした矛盾の多い社会においては、自分の願いや決心がどうかするとくじけ折れるようなこともあつても、決して負けてはいけません。どんなことがあつても自分を見失うことなく、いろいろな苦しみを大げさに考えないで、人生の希望を持ち続けて行くように努めるべきであります。例えどんな辛い悲しいことであつても、それをあるがままの姿で考え、強く克服して行かなければなりません。

ラジオ集

私たちの行くてには、必ず喜びが待つている。どんなことにぶつかつても絶望しない、そしていつも理想を胸に抱いて進んで行きたいと思います。そして理想を実現するために、コツコツと努力を続けることが生きる楽しみの一つではないでしようかけれども、その理想があくまで理想で終つてはなりません。到底実現のできない夢を持ち続けそれがために毎日をつまらなく送るようでは余りにも愚かなことであります。自分たちの願いは唯訳もなく高く遠いのが、いいのではありません。自分の性格や力量に調和したものでなければ幸福な生活を得られるものではありません。自分たちは若い。いつもしつかりと手を取り合い、どんなことがあつても希望に向つて勇気を奮つて起ち上らなければなりません。暗雲の向うには青空のあることを思い暗い夜のあとにも必ず郷かしい朝がやつて来ることを信じて、力強く生きて行こうではありませんか。

今晩のラジオ

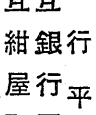
◆NHK（第一）

午前10時　子供ニュース
午前10時5分　一丁目一番地
午前11時　川柳コント
午前11時30分　録音ニュース
午後1時　隣りも隣り
午後2時10分　演芸会
午後4時20分　ニュース解説
午後4時30分　落語
午後5時　即興劇場
午後6時　時の動き
午後7時　邦楽名曲選
◆ラジオ福島
午後8時30分　トニーの童話
午後8時45分　赤胴鈴之助
午後9時　スーパー千一夜
午後9時30分　音楽の小箱
午後11時　録音ニュース
午後11時15分　日立グランド劇場
午後11時30分　めぐり逢うとき
午後12時　安川お好み演芸会
午後4時10分　平凡アワー
午後5時5分　甚兵衛アワー
午後6時10分　名作アルバム
午後7時　江戸三国志
午後7時30分　時事解説

今晩の映画

▼世界館　十四日迄　電話
午後1時　十七才の断崖
午後3時　清水港喧嘩旅
▼東映劇場　十四日迄　電話
午後1時　鉄火縛

菓子銘店



午後1時　十三の魔王
▼民劇　十四日迄　電話三三
午後2時　続々大番
午後5時　大暴れ次郎長一家
▼ひかり座　十四日迄　電話三六
午後2時　青い潮
午後3時　わが愛は終りなし
▼泉楽館　十三日迄　電話七
午後3時　最前線
午後4時　三人のあらくれ者
▼平劇　十四日迄　電話四六
午後3時　娘三羽烏
午後5時　すつ飛び五十三次
▼平文化ニュース　十二日迄
ニュース　マンガ
きよ子ちゃんの日記

謹賀新年　昭和33年　1958年

平労働基準監督署
署長安藤嘉雄
外職員一同

平市内校長会

平郵便局
局長芦沢貢
外職員一同

平石炭局
局長大島正夫
外職員一同

石城農業会館

平電話局
局長永峰健二
外職員一同

平電報局
局長小林正美
外職員一同

石城郡開拓農協
組合長酒井勇

福島県市町村教育委員会
石城地区連絡協議会

平税務署
署長熊谷治郎

内郷警察署
署長草野角治
外署員一同

平消防署
井上貞治郎
外職員一同

法財団人
石島公民館
教学部
体育部
技芸部
平市白銀町

理事　石根五十
監事　小橋市
理事　渡仲
石田辺
島田辺　井本松　川貸本嵐島
徳貞雄　憲数祐
長治二　馬馳司男
富士雄明誠　茂司茂　礼富

日本専売公社平出張所
所長鈴木勝明

平市金融團

茨城相互銀行平支店
七十七銀行平支店
常陽銀行平支店
大東相互銀行平支店
東邦銀行平支店
平信用金庫
日本勧業銀行平支店
富士銀行平支店
福島相互銀行平支店
福島相互銀行紺屋町支店（五十音順）

福島県高等學校長協議会
石城支部

平市会議員
志賀季三郎
平市下高久

福島県遺族連合会副会長
平市遺族連合会長　小松茂

平市草野協同組合
理事長作田稔
外職員一同

岡本ゴム工業株式会社福島工場
小川町小川駅前

喫茶スタンド
紫苑
平市一丁目　TEK1406

平信用販売協同組合
理事長堀喜一

石城酒造組合

ダイハツ号
星野モーター商店
星野忠三

鈴木歯科医院
平市南町　電四七八

平市草野小學校
校長北原清
PTA会長渡辺富一

平市草野中学校
校長鈴木兼徳
分校PTA会長坂本

中作鈴鈴鎌鈴阿　夏井地区遺族会長
野田木木倉木部　飯野地区〃
二　市栄折秋滝　赤間地区〃
治　久地区〃
郎稔造郎理光誠　高野地区〃
豊地区〃
神草谷地区〃